紀伊國屋書店
BOOKS KINOKUNIYA

NEWS RELEASE

2026 年 11 月 2 日
株式会社紀伊國屋書店

紀伊國屋書籍販売が、『京王電鉄×indent「えき・まち・未来」短編 SF 小説コンテスト』の審査に参画いたします

株式会社紀伊國屋書店（本社：東京都新宿区、代表取締役会長 高井昌史）の完全子会社である紀伊國屋書籍販売株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長 西前秋幸）は、京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長 都村智史）と株式会社 indent（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 釜形勇気）が 2026 年 10 月 20 日（火）から開始した、『京王電鉄×indent「えき・まち・未来」短編 SF 小説コンテスト』の審査に参画いたします。

本コンテストは、京王電鉄で橋本エリアの再開発を担当するチームが、未来の駅や街の可能性を探る取り組みとして企画したものです。未来の社会や暮らしを物語として描き、そこから新たな発想を得る「SF プロトタイピング」の考え方を活用し、「SF だからこそ表現できる自由な未来像」を描いた作品を広く募ることで、未来の橋本や駅、まち、そして人々の暮らしを想像するきっかけを創出します。

紀伊國屋書籍販売は、作品の審査および「紀伊國屋書籍販売未来賞」の選考を通じて本企画に参画。書き手の豊かな想像力を受け止め、物語を通じて街の未来を考える取り組みに協力してまいります。

■ 京王電鉄×indent「えき・まち・未来」短編 SF 小説コンテスト

参加者へのメッセージ：

＼つぎの停車駅は、未来です／

本日は、未来ゆき列車にご乗車いただきありがとうございます。この列車は京王電鉄橋本駅を経由し、30 年後、50 年後、その先の未来へ向かいます。現在、リニア中央新幹線の新駅づくりが進む相模原市橋本エリア。開通する頃、人々の生活はどう変わっているでしょうか？ 未来の橋本、駅、まち、そして人々の暮らし。ワクワクするものからゾクッとするものまで、あなたの想像力で描く「SF だからこそ表現できる自由な未来像」をお寄せください。

コンテスト概要（特設サイト｜https://contest.nola-novel.com/keio-2026/）

応募期間：2026 年 10 月 20 日（火）～2027 年 1 月 12 日（火）23:59

必須条件：以下の①・②の両方を満たすもの

①メインとなる時代設定は 2050～2100 年の間を目安に書くこと

②駅が登場すること（駅が存在しない場合は、機能や概念として駅として解釈できるモノ）

募集要項：4,000 文字程度

結果発表：2027 年３月中を予定 ※受賞イベントを開催予定です

審査員　：池澤春菜（声優/作家）、饗庭伸（東京都立大学 教授）、宮本道人（SF 思考フューチャリスト）
紀伊國屋書籍販売 選考チーム

監修　　：宮本道人（SF 思考フューチャリスト）
賞　　：大賞１作品（賞金５万円）、特別賞最大５作品（賞金１万円）、
　　紀伊國屋書籍販売未来賞１作品（図書カード１万円）
　　受賞作品は鉄道広告媒体への掲載が予定されています（変更の可能性有）
応募　　：特設サイト｜https://contest.nola-novel.com/keio-2026/よりご応募ください

■会社概要
名称　　：紀伊國屋書籍販売株式会社
所在地　：東京都目黒区下目黒 3-7-10
事業内容：書籍・雑誌・文具等の販売
店舗数　：20 店舗